

地方大学の基礎講座教授の挑戦

抗体作製を使命とするバイオベンチャーと新興感染症ワクチン・治療用抗体研究開発センターの設立

2018年島根大学発ベンチャー株式会社 mAbProtein（マブプロテイン）を設立し、代表取締役として炎症性疾患に対する治療用抗体の研究開発をミッションとして全力で取り組んでいます。また、2022年には概算要求を獲得し、新興感染症ワクチン・治療用抗体研究開発センターを設立し、次世代ワクチンを中心に研究開発を進めています。

上記、内容の大きく異なる2つのトピックスについて、設立経験を基にお話します。



講師

浦野 健氏

島根大学医学部
生化学講座
教授

長崎大学医学部卒業後、5年間の臨床研修（外科）を経て、長崎大学大学院医学研究科博士課程（珠玖洋教授が主幹する腫瘍医学）修了後、ボストンTufts大学医学部ポスドク・名古屋大学医学部准教授を経て、島根大学医学部教授に就任。

平成30年には島根大学発のベンチャー株式会社 mAbProteinを設立し、代表取締役に。

令和4年には概算要求を獲得し、島根大学研究・学術情報本部 新興感染症ワクチン・治療用抗体研究開発センターを設立し、副センター長に就任した。

2024年 **3月7日** (木)
16:00~17:30

対象者：山口大学の教職員、学術研究員、
大学院生、学部生等

- 開催方式
ハイブリッド形式（対面＋Webex）
場所：獣医棟4階大講義室
- 申込方法・申込締切
Webexで参加希望の場合は、氏名・所属を記載の上、下記問い合わせ先にメールにて申してください。
申込締切：2024年3月1日（金）
- 担当
佐藤晃一（副学長補佐・細胞デザイン
医科学研究所吉田拠点長）
- お問い合わせ先
研究推進課総括係
E-mail：sh014@yamaguchi-u.ac.jp